

# 経営探訪

株式会社秋田県物産振興会

”作り手の想いを売り込む。  
あきたの“全てが集う場所。”

## MANAGEMENT REPORT

### 「秋田」を売り込む使命

民芸品に地酒、銘菓、食品、小物類。ありとあらゆる秋田県産品を取り扱っているのが、株式会社秋田県物産振興会である。同社の前身は財団法人秋田県物産振興会であり、その歴史を紐解けば昭和33年の秋田県主導による財団法人秋田観光開発公社設立まで遡る。平成20年に事業譲渡を受け、株式会社として営業を開始したが、称号の中に財団当時の名を残したのは、秋田県産品を県内外に広く紹介していきたいという想いと使命を受け継いだゆえと、代表取締役の博英は語る。

「事業の柱は、直営店舗の『秋田県産品プラザ』（秋田市アトリオン地下）と『秋田ふるさと館』（東京都）の運営です。その他、首都圏、関西圏を中心とした卸売事業や観光物産展への出店、ヤフーショッピングと楽天市場でのインターネット販売も好調です」。

事業の中心となっている店舗営業は、大型のイベントやアンテナショップ人気、SNS等での後押しもあり、多くの賑わいを見せてきた。しかし、年々観光客への認知が高まる一方で、食品を扱う競合店舗の増加や創業当時から支えてくれているお客様の高齢化

などにより、県内の利用者の落ち込みが目立ってきたという。

「我々は“秋田”と共に歩んできた。ここにきて原点回帰の必要性を強く感じました」。

### 初の売り場全面リニューアル

同社の使命は“秋田を売り込む”こと。「秋田県産品を売るからこそ、県内の生産者や一般消費者の方々の支持を得て共に歩むこと」を信条とする博英代表は、観光客に加えもう一度県内のお客様に足を運んでいただくために、何ができるのか頭を悩ませた。

「その答えがアトリオンで営業を開始して以来、初となった全面リニューアルです」。

2018年に描いた構想は、2019年の年明けから具体化に向けて進行。活性化センターのデザイン相談員、専門家、売り場の担当者たちを交え、月に1度のペースで議論を繰り返しながら2020年2月29日、リニューアルオープンの日を迎えた。約3,500のアイテムが並ぶ店内は全体を広く見渡すことができ、主役である商品が引き立つ上質でシンプルな空間に生まれ変わった。また、大きな荷物を引きながらもゆったりと買い物ができ

るよう動線を見直し、商品の魅力を伝える商品説明を新たに配置するなど、買い物を楽しめる工夫が随所に施されている。県内随一の品揃えを誇る民芸品コーナーには県産材をふんだんに利用し、ギャラリーのような見せ方にこだわった。リニューアルをきっかけに店舗の愛称も“あきたの”に変更した。

「“あきたの”いいもの、おいしいもの、旬なもの、歴史、伝統…、さまざまな意味がこめられています。何よりも、作り手とのつながりを感じられ、県産品の良さを再認識していただける場所であるよう想いを込めています」。



1 入口から上質さを感じさせる店内。  
2 人気の地酒コーナーは種類が豊富。

3 毎年主催する「あきたの食のチャンピオンシップ」。  
4 伝統工芸品コーナーは眺めているだけで楽しい。

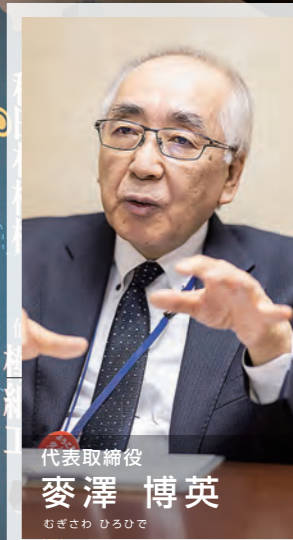
### 未曾有の困難。再び秋田が集う場所へ

「おかげさまで、オープニングフェアの際には、県内を中心に多くのお客様に訪れていただき、今後も順調かと思われました」。

だがその後すぐに新型コロナウイルスによる影響で三大都市圏を中心に続々と取引先店舗は営業休止。“あきたの”もまた、県の休業要請を受け、店舗の休業を余儀なくされている。加えて、竿燈まつり等のイベント中止が相次ぐことによるダメージは計り知れない。そんな逆境の中でも、博英代表は新たな挑戦を続けている。

「店舗型の営業は当面縮小せざるを得ないため、ネットショップ最大手のアマゾンでの販売準備を進めています。このような状況下で、秋田への帰省が叶わない方や秋田に来られない方にも秋田のものをご購入いただけるように、また県内の皆さんには県外に住むお子さんたちやご親戚、ご友人の方たちに、今だからこそ“秋田”を贈る際にご利用いただければと思っています」。

長い歴史を持つ同社でも、先の見通しが立たない現在の状況は初めてだが、“秋田を売り込む”使命は変わらない。博英代表が率いる秋田県物産振興会は多くの“秋田”の想いを抱えながら、唯一無二の存在であり続けるため、その使命とともに挑み続ける。



代表取締役  
博英 博英  
むぎざわ ひろひで

株式会社秋田県物産振興会

【秋田】秋田県産品プラザ  
〒010-0001  
秋田県秋田市中通2-3-8アトリオンB1F  
TEL. 018-836-7830

【東京】秋田ふるさと館  
〒100-0006  
東京都千代田区有楽町2-10-1  
東京交通会館1F  
TEL.03-3214-2670  
<http://www.a-bussan.jp>

●設立/1989年(創業1966年)  
●資本金/27,200千円  
●従業員数/24名  
●営業品目/秋田県産品の小売・卸売  
北東北三県アンテナショップの県産品納品代行  
秋田県の観光と物産展の実施  
秋田県産品の開発、宣伝、販売等付帯関連業務

